

## 会議録

会議名 (審議会等名)		第4期第8回相模原市南区区民会議		
事務局 (担当課)		南区役所区政策課 電話042-749-2134(直通)		
開催日時		平成29年12月25日(月) 15時00分～16時32分		
開催場所		南区合同庁舎3階 講堂		
出席者	委員	22人(別紙のとおり)		
	その他	3人(南区若者参加プロジェクト実行委員会)		
	事務局	17人(南区長、副区長、他15人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 会議の公開について</p> <p>3 報告 (1) 無作為抽出型区民討議会の結果について</p> <p>4 議題 (1) 第4期南区区民会議の取組のまとめについて</p> <p>5 その他 (1) 第4回More輝区～南区アイデアコンペ～について (2) その他</p> <p>6 閉会</p>			

## 審議経過

主な内容は、次のとおり。

( 〇〇は会長、 〇〇は委員、 〇〇は事務局、 〇〇は南区若者参加プロジェクト実行委員の発言 )

### 1 開会

### 2 会議の公開について

#### ( 1 ) 傍聴の許可について

傍聴希望者 なし

佐藤区長、坂本副会長のあいさつの後、議事が進められた。

### 3 報告

#### ( 1 ) 無作為抽出型区民討議会の結果について

資料に基づき、事務局から説明。

南区若者参加プロジェクト実行委員会(以下「若プロ」という。)のメンバーがファシリテーターとして活躍していた。若い世代がファシリテーターとなってこのような討議会を開催しているところは全国でも無いと思う。多くは、委託事業か、青年会議所の力を借りている。今回は、10代の参加率が高かった。無作為抽出型討議会の利点である。2年に1回開催しているので、今後も、南区のやり方として続けていけたら良い。

討議会では、世代間交流がしっかりと行われていた。10代の参加も多く、南区の将来の世代間交流のためになるのではないかと思った。

今回初めて参加したが、若プロの会議の進行が素晴らしかった。様々な世代や色々な方が集まって話し合える場というのは、非常に良い。今後、参加者が増え、今以上に活発になることを期待する。

前半の討議で若い世代のグループに入ったが、10代に「まちづくり」とは何かを伝えることは非常に難しかった。反省点としては、若い世代の方に「来てくれてありがとう」という気持ちで接し、遠慮をしてしまった。若い世代だけのグループではなく、リードしてあげる人間が3分の1ぐらいはいた方が、意見が出ると思う。

回数を重ねるにつれて、開催手法が構築されてきてはいるが、せっかく討議したアイデアを生かしていくためには、大変かもしれないが二日間行うことも一つの方法だと思う。ただ

し、参加率は下がると思われるので、通知の数を増やすなど工夫が必要である。区民会議にフィードバックできるようなアイデアが出てくると良い。

日本では二日間、ドイツでは四日間開催が多い。南区ではアンケートを一緒にお願いするという珍しい方法を取っている。テーマによって日数等も考えていくと良い。

無作為抽出の3,000名に加えて、一度討議会に参加した人にも通知を発送することはいかがか。それによって、再度参加する人は経験を重ねていくので、発言も増えるのでは。このような討議会には、地元出身の方が会議に参加されていることが多いように感じているが、転入してきた方が参加していて、長く住んでいる人が気づきにくい南区の住み心地の良さなどを伝えており、良い機会となった。

若い世代ではなく経験豊富な大人がアイデアを示して、参加してもらうようにまちづくりに引き込むことも一つの方法である。

若プロが担ったファシリテーターが非常に効果的であったので、牧之原市に習って、ファシリテートの手法を広めていきたい。

まちづくりに興味がない世代をどのように引き込んでいくかが課題である。若プロのメンバーは授業やバイトなどで非常に忙しいが、部活のような感覚で同世代が集まり、みんなが頑張っているから、一つの目標に向かって活動している。始めから意識が高かったわけではなく、活動しているうちに意識が芽生えてきた。結果が出るのは非常に時間がかかるし、大変だが、若プロはとても良い結果が出てきている。

ファシリテーターが上手く誘導できたため、通常は遠慮しがちな発表役もすぐに決まった。ファシリテーターについては、是非、自治会など、地域活動にも取り入れていくと良い。

#### 4 議題

##### (1) 第4期南区区民会議の取組のまとめについて

資料に基づき、事務局から説明。

第1期は区ビジョンの作成、第2期は活動報告、第3期は提言を行ってきた。第4期については、現段階で無理矢理まとめるものでもないの、活動報告とし、第5期で引き続き検討いただき提言としていきたい。

#### 5 その他

##### (1) 第4回More輝区～南区アイデアコンペ～について

資料に基づき、若プロから説明。

1 番良い賞はどれか。

賞に優劣はつけていない。選ぶ審査員により賞が違うものである。

—昨年、南区アイデア賞を相模女子大学のチームインターン2015が受賞し、「おいでよ！南区Happyたまごまつり」として実現した。

「家族のための南区」というのは、どのような内容か。

家族にとって南区が住みやすくなるため、家族みんなで地域活動に参加できるような方策などのアイデアを提案いただくものである。

参加団体数は決まっているのか。

現段階で3団体の出場が決まっており、引き続き参加団体を募っている。

南区地域福祉交流ラウンジでは、週1回子育て中のお母さんたちが集まって、情報交換をしている。そうしたお母さんグループから募るような形で、1チーム参加してもらえると良いのでは。

鶴の台小学校のPTAは毎月1回必ず会合を開き、子育てをしながら、なおかつ地域のためにみんなが力を合わせている。そういった団体の参加も良い。

参加者の目線でいうと、提案したアイデアがどのように使われていくのか気になるところである。アイデアの実現化にも取り組んで欲しい。

## (2) その他

・若プロから、地域の会議などでファシリテーターを希望する場合、若プロが協力する旨、提案。

地域で会議を行うときに若者がいると活性化するので、是非活用願いたい。

・地域振興課長から「相模原市安全に安心して自転車を利用しようよ条例」の紹介。

・事務局から次回の日程については、3月に開催する旨報告。

## 6 閉会

坂本副会長のあいさつの後、閉会。

## 相模原市南区区民会議委員名簿

（順不同・敬称略）

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	森 逸雄	大野中地区まちづくり会議会長		欠席
2	大木 恵	大野南地区まちづくり会議会長		出席
3	石井 正彦	麻溝地区まちづくり会議会長		出席
4	穂刈 健二	新磯地区まちづくり会議会長		出席
5	篠塚 実希子	相模台地区まちづくり会議副会長		出席
6	瀬尾 守一	相武台地区まちづくり会議会長		出席
7	嘉松 皓	東林地区まちづくり会議会長		出席
8	鈴木 貴市	相模原南交通安全協会会長		出席
9	中村 方子	相模原市民生委員児童委員協議会会計		出席
10	草薙 喜義	相模原市社会福祉法人経営者協議会監事		出席
11	伊藤 重俊	相模原市地区社会福祉協議会連絡協議会 南区連絡会（市地区社会福祉協議会監事）		出席
12	古田 政子	子育て親育ち応援団 With.cfc 副代表		欠席
13	白井 憲二	相模原商工会議所 2号議員		出席
14	義見 亮太	相模原青年会議所理事長		出席
15	井部 弥生	相模原市民文化財団総務課長		出席
16	坂本 堯則	相模原市自治会連合会会長	副会長	出席
17	松下 啓一	相模女子大学人間社会学部教授	会長	出席
18	飯村 和道	女子美術大学芸術学部教授		欠席
19	田中 美加	北里大学看護学部教授		出席
20	荒俣 大	公募委員		出席
21	若林 美佳	公募委員		出席
22	井上 信	公募委員		出席
23	草津 成	伊勢丹相模原店総務部マネージャー		出席
24	赤司 澄子	相模原・町田大学地域コンソーシアム総務課長		出席
25	鎌田 成美	区内大学生（女子美術大学）		出席



第 4 期

第 8 回相模原市南区区民会議 次第

日時 平成 2 9 年 1 2 月 2 5 日 ( 月 )  
午後 3 時から  
会場 南区合同庁舎 3 階 講堂

1 開 会

2 会議の公開について

3 報 告

( 1 ) 無作為抽出型区民討議会の結果について

4 議 題

( 1 ) 第 4 期南区区民会議の取組のまとめについて

5 その他

( 1 ) 第 4 回 M o r e 輝区 ~ 南区アイデアコンペ ~ について

6 閉 会

### 南区区民会議 F a c e b o o k

( 平成 2 9 年 1 0 月 2 8 日 ~ 1 2 月 2 0 日 )

掲載件数 : 7 件

閲覧者数 : 2 , 7 2 6 人

いいね数 : 7 0 件



URL:<https://www.facebook.com/sagamiharasi.minamiku.kuminkaigi/>

## 無作為抽出型区民討議会 開催結果

- 1 開催名称 わいわいみんなで語ろう Part4 ~一語り行こうぜ! ~
- 2 主 催 相模原市南区区民会議  
相模原市南区役所
- 3 運営協力 南区若者参加プロジェクト実行委員会
- 4 開催目的 16歳以上の区民3,000名を無作為に抽出し、市政や区政に関するテーマを議論してもらうことで、サイレントマジョリティーの把握と、まちづくりへの興味や関心を持ってもらうことを目的とします。
- 5 開催日時 平成29年11月11日(土) 午後1時から午後5時
- 6 開催場所 南区合同庁舎3階 講堂
- 7 参加人数 38名(参加率1.26%)【58名(承諾率1.93%)】
- 8 参加者等の分析
- (1) 性別  
男 性：12名(31.6%)【23名(40.0%)】  
女 性：26名(68.4%)【35名(60.0%)】
- (2) 年代別  
10歳代：9名(23.6%)【10名(17.2%)】  
20歳代：4名(10.5%)【5名(8.6%)】  
30歳代：6名(15.7%)【10名(17.2%)】  
40歳代：6名(15.7%)【13名(22.4%)】  
50歳代：1名(2.6%)【3名(5.1%)】  
60歳代：11名(28.9%)【11名(18.9%)】  
70歳代：1名(2.6%)【6名(10.3%)】
- (3) 地区別  
大野中地区：9名(23.6%)【14名(24.1%)】  
大野南地区：16名(42.1%)【23名(39.6%)】  
麻 溝地区：1名(2.6%)【1名(1.7%)】  
新 磯地区：2名(5.2%)【3名(5.1%)】  
相模台地区：3名(7.8%)【5名(8.6%)】  
相武台地区：0名(0.0%)【1名(1.7%)】  
東 林地区：6名(15.7%)【9名(15.5%)】  
住所未記入：1名(2.6%)【2名(3.4%)】

【 】内は申込み時点での数値 端数処理により率の合計値 100%

(4) 参加者の経緯

- ア 平成29年 9月13日 南区内在住16歳以上の男女3,000名を、住民基本台帳から無作為に抽出し、参加依頼通知を送付。
- イ 平成29年10月 1日 58名の参加承諾(承諾率1.93%)があった。
- ウ 平成29年10月 3日 参加承諾者へ開催通知を発送
- エ 平成29年11月 1日 参加承諾者へ討議の進め方の周知及び事前検討事項の依頼を行った。

【参考】

- 開催日までに欠席連絡があった者：14名  
当日欠席者：6名  
当日参加者：38名(最終参加率1.26%)

(5) 傍聴者 2名

## 9 開催までの準備

(1) 南区若者参加プロジェクト実行委員会への運営委託

今回の討議会では、南区若者参加プロジェクト実行委員会に、開催事業名称の検討、テーマの設定、進行方法、各班のとりまとめ等を依頼しました。

これは、当該実行委員会が、南区区民会議の検討の中から設置された団体であり、平成27年度に開催した第3回の開催から行っています。

今回の討議テーマである「世代間交流促進のための仕組みづくり」の検討のためには、若い世代、特に働く世代・子育て世代のまちづくりへ参画が重要であり、働く世代・子育て世代の社会人を含めた若い世代自らが、若者のまちづくりへの参画促進に取り組んでいる南区若者参加プロジェクト実行委員会の活動は、本討議会の趣旨に最適であることから、南区役所が当該実行委員会へ運営を委託したものです。

(2) 運営委員会の設置

本討議会の開催方法等を検討するために、南区区民会議委員、南区若者参加プロジェクト実行委員会委員、南区役所職員が運営委員会を組織して準備を行った。

(3) 運営委員会の開催

- 平成29年 7月11日 第1回運営委員会...実施方法の検討
- 〃 7月24日 第2回運営委員会...実施方法の検討
- 〃 8月28日 第3回運営委員会...役割分担の検討
- 〃 10月10日 第4回運営委員会...レイアウト、資料作成、役割分担の決定
- 〃 10月28日 第5回運営委員会...資料確認、実施方法の再確認
- 〃 11月 7日 第6回運営委員会...最終確認

(4) ファシリテートスキルの学習

本年7月に、南区区民会議が主催で実施した「ファシリテーター育成研修」を踏まえ、各回運営委員会において、南区若者参加プロジェクト実行委員を中心として、各グループの進行役であるファシリテーターとしての技術を身に付けるための勉強会を実施した。



## 10 討議内容について

### (1) 開催テーマ「世代間交流促進のための仕組みづくり」

他市と同様に、相模原市でも少子高齢化と人口減少の傾向は免れないことが想定されている中で、現在の地域の担い手である比較的高齢の方と、次に地域を担っていく、働き世代・子育て世代、そして将来的に地域を担う若者の各世代が、今から交流を図り、地域を盛り上げていかなければ地域が持続していなくなる恐れがあるという懸念から、その解決方策を、みんなで考えてみようという主旨で設定されたもの。

### (2) 具体的な討議テーマ

ア 前半「まちづくりって何だろう？」

イ 後半「          をブラッシュアップ!!」

とは...地域参画の仕組みや既存の地域団体等

地域活動を持続するため一つの方策として、自治会活動など、身近な地域活動へ、多くの人が参加してもらうことが重要であるとの考えから本テーマを設定したもの。

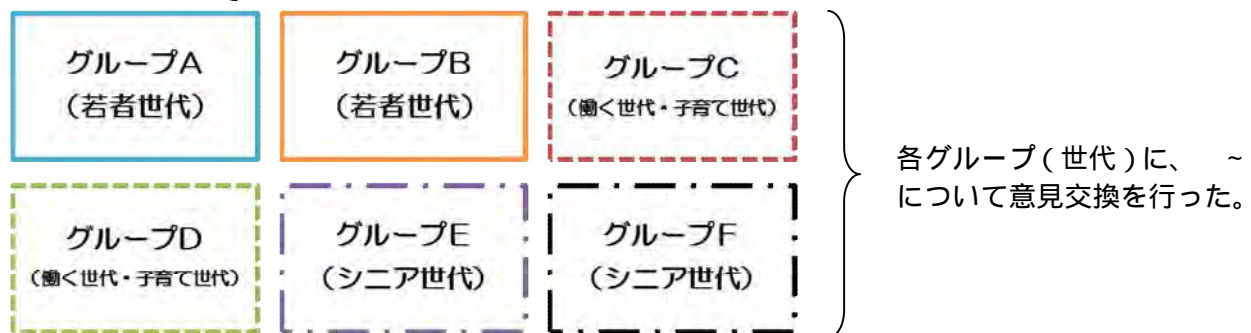
これまでの南区区民会議での検討結果から、世代ごとの考え方には大きな違いがあり、あらゆる世代と一緒に活動を行うためには、お互いの考え方を十分に伝えることが重要であるとの提言から、討議の前半では同世代により考え方の共通認識を図り、後半では、各世代が混在グループをつくり、考え方の違いや違いを埋めるためのアイデア、また、そのアイデアを活用した新たなまちづくりへの参画の仕組みや、既存団体の活動方法等をリニューアルする提案を行うことを目的とした。

### (3) 討議方法及び進行

13:00 開 会

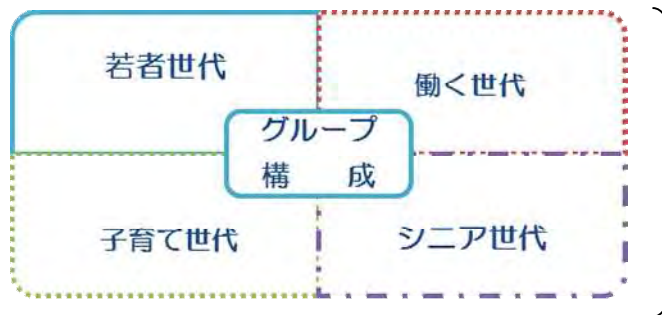
13:20 討議会前半開始【 「まちづくりって何だろう？」 】

あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。  
まちづくりへの参加は大切だと思いますか。  
誰が主体的にまちづくりを推進していくべきだと思いますか。  
まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア



14:05 休 憩(くじ引きで、グループシャッフルを行います)

14:20 討議会後半開始【「○○○をブラッシュアップ!!」】



- ・各世代が混在したグループを作る。
- ・前半での討議を公表し、世代間の考え方の違い等を認識します。
- ・違いを補うアイデアの検討。
- ・アイデアを活用した、新しい仕組み等の検討。

15 : 35 発表 (各グループ質疑応答を含め7分程度)

16 : 25 投票 (優劣ではなく、参加者がどの提案に共感したかの目安とする)

16 : 40 閉会

各グループのファシリテートは、南区若者参加プロジェクト実行委員会委員が行い、参加した南区区民会議委員がサポートする形態でグループ進行を行った。

#### (4) 討議結果の取扱い

討議の結果は南区区民会議に報告し、平成30年7月に市へ提出を予定している提言書作成のための資料とします。

## 前半討議「まちづくり」って何だろう？」

ここでの「まちづくり」とは、団体活動等のソフト的な分野として考えてください。

グループ名 【       】	あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。	まちづくりへの参加は大切だと思いますか	誰が主体的にまちづくりを推進していくべきと思いますか。	まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア
自 分 の 意 見				
グ ル ー プ の 意 見				
ま       と       め				
備                   考				

## 後半討議「**をブラッシュアップ!!**」

各グループで1枚作成(模造紙サイズ)

### 前半討議「まちづくり」って何だろう？」

若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見



### 認識・考え方が異なる事項

--



### 認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア

--



### アイデアを活かした世代間交流のための仕組み

#### 【団体名称等】

『

』

#### 【内容】

- ・
- ・

#### 【必要なこと】

- ・
- ・
- ・

11 討議の結果～各グループの討議結果～

前半討議（同世代グループ）「まちづくり」って何だろう？」意見			
テーマ	若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
あなたにとって「まちづくり」とはどんなイメージですか。	お年寄り・大人が運営している。 どこで、どんな人が運営しているかわからない。 地域活動やイベントへの参加	暮らしやすさをUPする。 生活環境の充実 高齢者に支えられている。	人との交流（あいさつ） 緑の整備 学校などの公共施設 自治会のお祭りなどのイベント イベント等の運営に参加する 堅いイメージ
まちづくりへの参加は大切だと思いますか	大切だと思う。 団体に属するだけではなく、例えばお祭りに来ることで、既に町づくりに参加しているのではないか。 参加しなくても生活に支障はないので、自分達がする必要はない。		みんなの参加が大切 ご近所付き合いや地域の見守り機能として重要
誰が主体的にまちづくりを推進していくべきと思いますか。	若者でも機会があれば、参加したいと思う人は意外と思う。 参加する機会がない。	行政が主体となるべき 高齢者サークル 子育て世代が中心となるべき 自分自身が参加しなければならないとは思っている。	いろいろな世代 誰がというより、みんなが集まれる場所があり、交流することが必要
まちづくりへ参加しやすくするためのアイデア	地域の合言葉をつくる。 自分の意見が言える場所づくり イベントがきっかけとなりまちづくりが起こる。 SNSでの情報発信 地域の魅力を伸ばすこと 鎌倉小町通のような有名な場所	人と人とのつながりをつくる。 誰でも参加できる体制づくり。 強制されず、楽しく行う活動 自慢できる事（物）を創る。	子供から高齢者まで住みやすい環境をつくる。 公民館の利便性の向上 どの世代も平等に、気持ちよく利用できる仕組み ペットをコミュニケーションツールとする。 行政からの恩恵が受けられる。



前半討議（同世代グループ）「まちづくり」って何だろう？」まとめ

若い世代の意見	働く世代・子育て世代の意見	高齢者世代の意見
<p>まちづくりは大切であると感じている。 でも、だれが主体に行っているかが分からない。 もっと情報発信が必要 若者も参加の機会が欲しい。 今回をきっかけに参加しようと思った。 運営側に廻るのが参加ではないのではないか。 自分の意見が言える場があると良い。</p>	<p>まちづくりとは、暮らしやすくなること、生活環境が充実すること。 現在のまちづくり（地域活動）は高齢者の方に支えられている。 高齢者サークルや子育て世代が中心となって、まちづくりを進めるべき。 誰でも参加ができることが重要 楽しくて、強制されないことが重要 自分の趣味・興味に繋がれば参加率もあがるのではないか。 世代間交流の一環として、祭り、イベントは重要 住環境を良くする取り組みを多世代で実施することが必要 他に向けて、地域に自慢できる事（物）を創ることで一体感が増すのではないか。</p>	<p>まちづくりとは人との交流 家族から広がり、子供から大人までが住みやすいまちをつくること。 ハード（建物・条例）よりもソフト（住民一人ひとりの考え方・教育）が重要 自治会として、何が求められているのかがわからない。 外国人の方も含め、地域の人が集まって交流する必要があるのではないか。 誰もが行きたい時に、行ける場所をつくる必要がある。 日常にとけこんだ交流を行うことが重要である。 キーワード 「交流」 「空き家の有効活用」 「チームワーク」 「美化」 「地域の文化度」</p>



後半討議 (各世代混在グループ): 世代間の認識・考え方が異なる事項等の確認							
A	B	C	D	E	F	G	H
	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人とのつながりを大切にすること</li> <li>・コミュニティづくり、仕組みづくりがあまりないこと。</li> </ul> <p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりに対する見方</li> <li>・地域のイベントなどの参加の仕方</li> </ul>	<p>《共通点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・異なる世代が話し合える機会が欲しい</li> <li>・参加しやすい雰囲気大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・HP、SNSに出てこない。</li> <li>・信頼できる地域コミュニティがあると安心</li> <li>・地域で自治会の運営力に差がある。</li> <li>・現状では、頼れるのは家族、友人</li> <li>・自治会役員になり手がない。</li> <li>・定年後は、世間に干渉されずに生活がしたい。</li> <li>・少し強制的にしないと参加しないのではないか。</li> <li>・自発的には参加しにくい。</li> </ul>	<p>《異なる点》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世代ごとの集まりをあまり必要としていない。</li> <li>・子育て世代になって必要性に気づく。</li> <li>・転入出が激しいと地域特性が維持できない。</li> <li>・働き世代のボランティアは難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知りたい(人)と知って欲しい(人)がいること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流することが、まちづくりになる</li> <li>と、どの世代も思っている。</li> <li>・イベントへの参加の仕方が異なる(スタッフかゲストか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちづくりの情報があれば参加したいと思っているが若い世代には、どこに情報があるかわからない。</li> <li>・働く世代、子世代は広報は見ると情報かわかりづらい。</li> <li>・シニア世代は、回覧板、掲示板、FMさがみ、広報で情報を入手する。</li> </ul>



後半討議（各世代混在グループ）：認識・考え方の違いを埋めるためのアイデア

A	B	C	D	E	F	G	H
<p>・環境整備が必要</p>	<p>・暖かく受け入れられる。</p> <p>・家族や世代によって考え方を埋めるフォロー体制。</p> <p>・まちづくりのアピール方法（情報発信・共有方法）</p>	<p>・小さい頃から参加できる自治会イベント</p>	<p>・若者世代は参加する場がない。</p> <p>・子育て世代は時間的（精神的）にゆとりがない。</p> <p>・シニア世代に若者世代とつながっていただく（フォロー）</p>	<p>・ボランティアに対するポイント制の導入</p> <p>・気軽に集まることができる場所</p>	<p>・団体と団体が交流できる場の創設</p> <p>・活動情報の発信（SNS、回覧板）</p>	<p>・イベントを立ち上げるためのスタッフ募集する機会の立ち上げ。</p> <p>・そういう場があれば世代の違いを埋めることができるのではないか。</p>	<p>・SNS、ツイッター、HPの活用</p> <p>・スーパー、デパート等よく行く場所の掲示板活用</p> <p>・公民館の掲示板を見やすくする（内容による色分け）</p> <p>・幼・保・小・中・高、教育の場での告知</p>





後半討議（各世代混在グループ）：アイデアを活かした世代間交流のための仕組み

A	B	C	D	E	F	G	H
<p>【名称等】 『既存の団体で無く、個人で行政に発信するシステム』</p> <p>【内容等】 小さい意見でも言える場所</p>	<p>【名称等】 『集まる場所をブラッシュアップ!!』</p> <p>【内容等】 ・魅力あるイベントに、いろんな世代に来てもらう。 ・巻き込む ・若者が活躍できる場面を増やす。 ・「よし！やろう。」と思う。</p>	<p>【名称等】 『ボランティア自治会のイベント』</p> <p>【内容等】 ・年1回の参加でもよい。 ・短期の実行委員 ・自治会に入っていないてもよい。 ・運営は若い世代、シニア世代はアドバイザー ・初心者でも参加しやすいイベントであること。 ・子どもが参加できる。世代間交流ができる。</p>	<p>【名称等】 『みんな子ども会へCome back!!』</p> <p>【内容等】 ・ターゲットを小中学生に絞り、自治会活動を通じて高齢世代とつながりをつくる。 ・学校行事につなげる。</p>	<p>【名称等】 『公民館をブラッシュアップ』</p> <p>【内容等】 ・団体登録の改善 ・開館時間の見直し（世代枠・抽選方法など）</p>	<p>【名称等】 『さがトコ広場』</p> <p>【内容等】 ・既存の空いている場所をみんなの集まる場所にする ・子どもの居場所 ・世代間交流の場所 ・出会いの場</p>	<p>【名称等】 『イベント開催のためのスタッフ募集』</p> <p>【内容等】 ・イベントを立ち上げるためのスタッフ募集</p>	<p>【名称等】 『ボランティア登録制度』</p> <p>【内容等】 ・まちづくり情報の発信、受信 ・1人では参加しづらい、情報に対する不安等の払拭を解決することができる。</p>

<p>【必要事項】 とにかく参加の募集を募る。</p>	<p>【必要事項】 ・全てにおいて安全であること。 ・情報を発信し共有すること。 ・受入態勢を大切にす。</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なボランティア制度の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・時間的に無理な親へのフォロー ・週末働いている方には、高齢者に子どもを預かってもらう。(高齢者の生きがいに繋げる。)</p>	<p>【必要事項】 ・団体登録時の団体人数を減らす ・抽選方法の改善 ・どの世代にも手軽に利用できるような周知</p>	<p>【必要事項】 ・主体になること。 ・各地域にあった仕組みづくり。 ・慎重な呼びかけ。 ・主催を知ってもらう</p>	<p>【必要事項】 ・一時的なスタッフ募集の仕組みづくり。</p>	<p>【必要事項】 ・事務局は、行政をバックにして、意欲あるボランティアを募る。</p>
共感者数：5	共感者数：5	共感者数：25	共感者数：18	共感者数：10	共感者数：23	共感者数：11	共感者数：24

12 アンケート集計結果【回答件数：38件】 無作為抽出参加者以外の回答も一部含んでいる。

該当する箇所に を付けてください。

性別 男... 12  
女... 26

年代 10代... 9  
20代... 4  
30代... 6  
40代... 6  
50代... 3  
60代... 7  
70代... 3

職業 学生... 10  
主婦... 6  
会社員... 10  
自営業... 2  
公務員... 1  
アルバイト... 3  
その他... 4  
無回答... 2

質問1 開催時間については、いかがでしたか。

長い... 5  
ちょうどよい... 29  
短い... 4  
(感想)

始めは長いかと思いましたが、楽しい充実した時間となりました。  
すべての班が発表できたことも良かったが、3時間程度が良かった。  
話をまとめるのには短かった。

質問2 開催場所については、いかがでしたか。

遠い... 1  
ちょうどよい... 27  
近い... 10  
(感想)

区民であれば知っている場所だし、分かりやすく良かった。  
車が無くても、駅から近かったので行きやすかった。  
交通が不便だった。

**質問3 本討議会の趣旨について、ご理解いただけましたか。**

理解できた... 3 5

できなかった... 3

(感想)

「まちづくり」について、考える機会となって良かった。

様々な世代の人と交流できて良かった。

難しいテーマであった。

自分が考えてきたことを十分話せなかったのは少し残念だったが、有意義だった。

**質問4 今回は、「世代間交流促進のための仕組みづくり」について討論していただきましたが、南区の課題や、今後のまちづくりのアイディアにつなげるためのテーマ設定として適切であったと思いますか。**

適切だと思う... 2 9

適切ではないと思う... 1

どちらともいえない... 7

無回答... 1

(感想)

南区での世代間交流が少ないように感じていたので、良いテーマだと思った。

世代間交流は永遠のテーマだと思う。

世代が違う人達の意見を聞くことができ良かったが、知識量の差もあり、不明な点もあった。

もう少しテーマを絞った方がわかりやすい。

**質問5 全体及びグループ討議会の進行はいかがでしたか。**

スムーズに行われていた... 2 3

解りづらかった... 3

どちらともいえない... 1 2

(感想)

司会及びファシリテーターの進め方が良かった。始めは緊張し、意見が言いにくかったが、若プロの進行により和気あいあいとできた。

自分達と同じ立場の市民が主導し、違和感なく参加できました。

若プロのファシリテートに感心しました。

前半の流れがスムーズではなかった。別の話になったりしていたので、前半討議の紙に沿って進めてほしい。

ファシリテーターのプロ1人に進行してもらおう方がもっとスムーズに進行できると思う。

質問6 討議方法について、前半は同世代、後半は各世代が混在したグループにより討議を行いました。この方法をどのように思いましたか。

議論が深まった... 30

多くの意見を聞いたかったので、メンバー交替が必要。... 7

その他... 1

(感想)

同世代で感じていることを共有でき、各世代間での話の中で、気付かなかったことなどがわかって、とても面白かった。

視点が広がって、全体の意見がわかりそれを踏まえた討議ができた。

思った以上に身近な内容になったので、楽しかった。

始めの説明で、同世代が集まっていると伝えてくれるとより良かったです。

参加者同士の交流が出来る仕掛けがあるととっても良いと思う。

質問7 これまでに「シンポジウム」や「審議会」といった、市が主催する討議会や会議に参加したことはありますか。

ある... 4

興味はあったが参加したことはない... 5

ない... 29

質問8 今回の討議会に参加しようと思った一番の理由は何ですか。

今回のテーマに興味があったので... 3

通知が届いて良い機会だと思ったので... 21

地域に貢献したいと思ったので... 1

無作為で選ばれた区民が集まるという趣旨に賛同したので... 10

その他... 3

(感想)

まちづくりに参加したい気持ちはあるが、参加方法がわからないため、勉強のため参加した。

様々な世代で話し合う機会がないため。

質問9 今後も討議会に限らず、市民参加の試みに参加したいと思いませんか。

参加したい... 35

参加するつもりはない... 1

その他... 1

無回答... 1

(感想)

興味がある内容であれば参加したい。

**質問 1 0 参加記念品について、いかがでしたか。**

不要... 9

多い... 0

ちょうどよい... 20

少ない... 0

交通費や謝礼など、ある程度の報酬は必要... 2

その他... 1 (記念品を目当てに来ているわけではない。)

無回答... 6

(感想)

記念品より交通費をもらいたい。

**質問 1 1 今後、南区のまちづくりを考える際に、どのようなテーマを優先するべきと思いますか。**

相模線の複線化等、ハード部分のテーマ

若者、家族が気軽に参加できるテーマやイベント

若い世代の人たちが頼られやすいまちづくり

「まちづくり」にどう参加してもらうか

区民の当事者意識が低いことについて

世代間交流と世代交代

住み続けたいと思うまちづくり

地域での支え合い、車いすでもスムーズに動けるまちづくり

気楽に声をかけあえるまち

外国人をうまく取り込むまち

行政への提案内容(福祉費の削減等)

安心安全、防災、美化、医療、文化、交通、NPO

**質問 1 2 今回の討議会についてのご意見、ご感想がありましたらご自由にお書きください。**

普段関わることのない様々な世代の意見を聞くことができ、自分達とは違う視点から様々な光景が見え、貴重な機会となった。参加したことで、楽しく有意義な時間を過ごせた。

若プロのサポートによって進められた。若プロの活動を知りたいと思った。

無作為抽出という方法はとても良いアイデアだと思う。今後も年1度だけではなく、頻繁に開催してほしい。

お知らせの通知をもっと親しみやすい感じにすると良いと思った。

地元のまちづくりについて、考え直す良い機会が得られて良かった。

コミュニティの持つ意見・視点に気付けたことは有意義であった。

他所から来たものですが、私が感じている南区の住み心地良さを、地元で育った方が気

付けていないことが驚きで新鮮だった。

無作為抽出したアンケートを行政に活かす手法の採用を検討してほしい。

住みやすいまちにするには、誰でも自由に自分の意見が発言する場所があるとよいと思う。

真剣に地域のことを考えている方が沢山いることに感動した。

「まちづくり」という漠然としてテーマだと話しにくいので、事前説明もしくは、もう少し絞ったテーマにした方が話しやすい。抽象的なテーマだと、イメージから入るので、本題に入るのに時間がかかる。

行政との連携を考える必要があると今日改めて思った。まちづくりに参画したいと思っている人は沢山いるので、そこでの声、意見を行政に反映する仕組みを考えていけたらと思った。

写真等を撮るのであれば事前に了承を得てほしかった。

## 第 4 期南区区民会議の取組のまとめについて

### 1 内容

第 4 期南区区民会議では「世代間交流促進のための仕組みづくり」をテーマに、平成 28 年 7 月 31 日から 7 回の会議と事業を通して取組を進めてきた。平成 30 年 7 月 30 日に任期が終了することから、これまでの取組をまとめるもの。

### 2 まとめ内容の骨子（案）

#### （1）テーマ選定の経緯

##### 【第 4 期南区区民会議でのテーマ検討の経過】

##### （1）- 1 現状と課題の把握

第 3 期南区区民会議委員が検討した、「第 4 期南区区民会議に期待する討議内容」を参考に、グループワークを行い現状と課題を把握した経過を記載。

##### （1）- 2 区民会議の検討テーマの選定 及び 取り組み方法

グループワークで各班からあがったテーマ・課題から考えられるキーワードから、第 4 期のテーマ「世代間交流促進のための仕組みづくり」に決定した経過を記載。

また、取り組む事業を決定した経過を記載。

#### （2）課題解決に向けた取り組み

##### （2）- 1 世代間交流を促進するためのリーダー育成事業

平成 29 年 7 月 22 日（土）に開催したファシリテーター育成研修会について記載。

##### （2）- 2 南区区民アンケート～地域活動への参加について～

約 600 人から収集したアンケート結果について記載。



(2) - 3 無作為抽出型区民討議会

ファシリテーター育成事業及び南区区民アンケートを踏まえて、平成29年11月11日(土)に開催した「わいわい語ろう part 4 ~一語り行こうぜ!~」について記載。

3 まとめ内容の取扱について

(1) これまでの各期区民会議での取組内容の取扱

第1期	諮問を受けて区ビジョンの検討	答申
第2期	「若い世代のまちづくりへの参画促進」	活動報告書の作成
第3期	「若い世代のまちづくりへの参画促進」	市長へ提言

(2) 第4期の取組内容のまとめについて

第3期では、第2期からの取組を通して検討した内容を提言として、市長へ提出したが、「世代間交流促進の仕組みづくり」については、引き続き検討を行う必要がある。

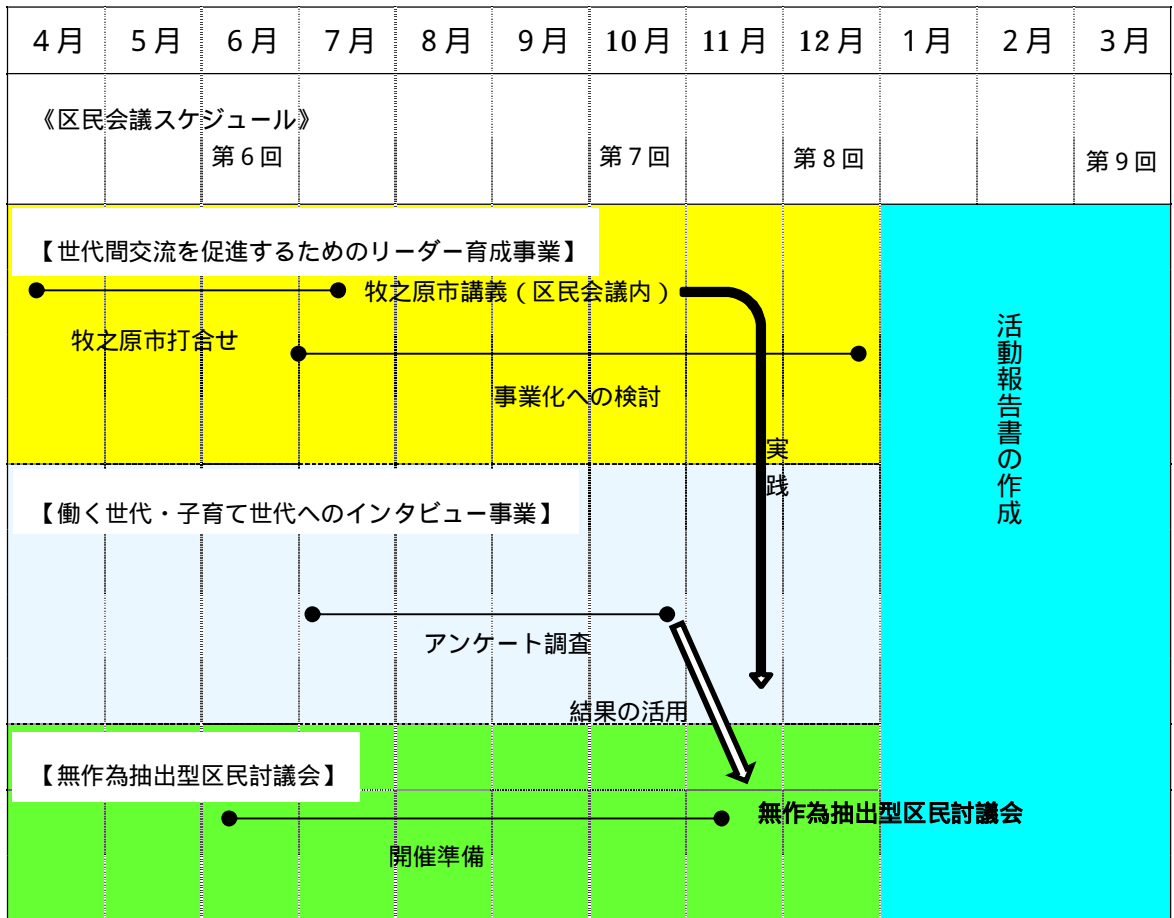
については、第4期から第5期南区区民会議に期待する討議内容として引継ぎ、実践的な取組を行いながら、議論を深めていく資料とするために、第2期と同様に「活動報告書」としてまとめることとする。

4 参考(今後の区民会議開催スケジュール)

第9回	平成30年3月頃
第10回	平成30年6月頃(最終回)

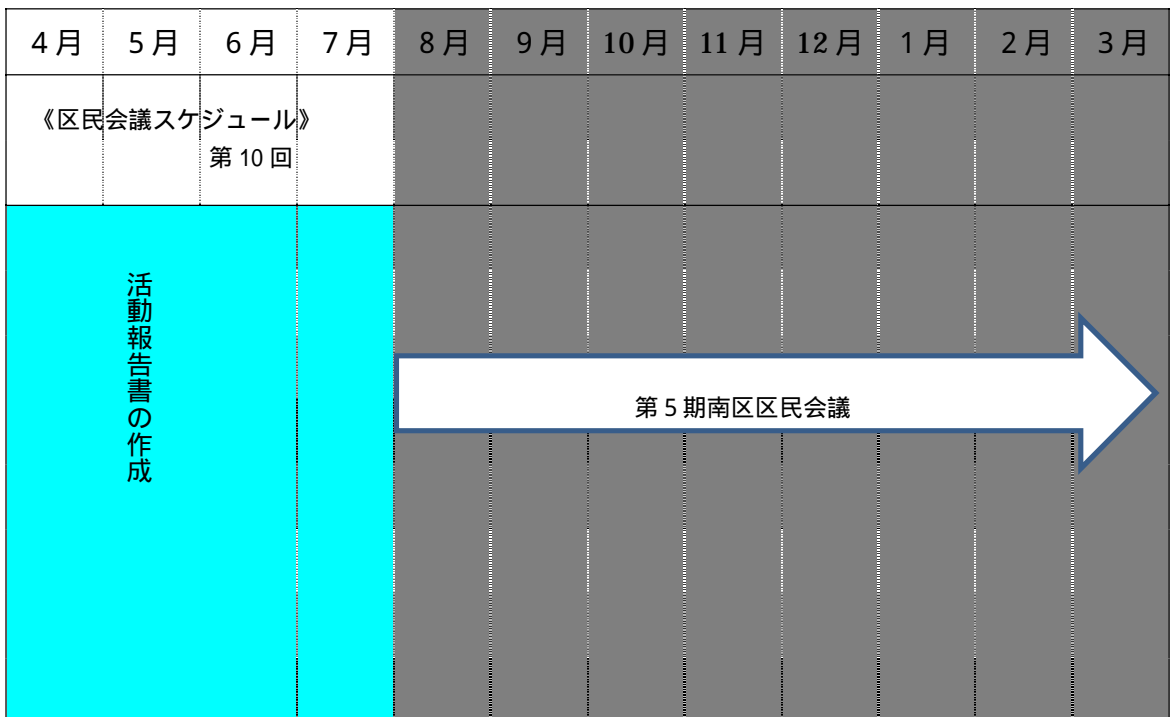
平成29年

平成30年



平成30年

平成31年



以上

モ ア かがやく

## 「第4回More輝区～南区アイディアコンペ～」について

### 1 目的

- ・若い世代が区のまちづくりについて考える機会の創出
- ・区内の若者と地域団体との交流

### 2 概要

- (1) 日時 平成30年2月17日(土) 13時00～17時00分  
[開場12時30分]
- (2) 会場 相模女子大学マーガレットホール4階 ガーデンホール
- (3) 主催 南区若者参加プロジェクト実行委員会  
事務局：南区役所区政策課
- (4) 共催 相模原市南区区民会議、相模原市南区役所
- (5) 後援 相模女子大学、北里大学、女子美術大学、相模原青年会議所、  
相模原商工会議所

### 3 テーマ「家族のための南区」

#### (1) 趣旨

普段は忙しい働く世代・子育て世代にとって家族と過ごす時間は大切なもの。その時間を使って、家族と一緒に地域活動に参加(参画)できる取組や仕組みを考えることはできないだろうか? そして、働く世代・子育て世代が地域を盛り上げるような、**家族のための南区**にするアイディアはないだろうか?

#### (2) 方法

働く世代・子育て世代が家族とともに地域活動に参画するためのアイディアや方法について、参加団体がプレゼンテーション形式で発表する。

### 4 出場団体

#### (1) 公募枠【若干数】

平成30年1月を公募の期間として実施予定。

#### (2) 参加依頼枠【6～7団体】

区内の大学やテーマに関係する地域団体等を対象に参加依頼を行う。

#### (3) 参加団体

6～7団体程度を予定。

## 5 表彰等

### (1) 南区アイデア賞

南区若者参加プロジェクト実行委員が各プレゼンテーションを“独創性”“共感性”の視点で審査し、決定する。

### (2) 審査員特別賞

各プレゼンテーションを「発表資料や展示の完成度」や「論理構成」、「実現性」などの項目に基づき審査し、決定する。

審査は、南区区民会議委員に依頼する。

### (3) オーディエンス賞

来場者に投票用紙を配布し、最も印象に残った提案を記入してもらい、得票数が最も多いチームに授与する。

### (4) 南区長感謝状

南区のまちづくりのためにアイデアを検討していただいた参加者全員に授与する。

## 6 その他

### (1) 展示

- ・プレゼンテーション内容をパネルなどで展示する。
- ・展示を通じ、プレゼンターと観客が直接交流することを目的とする。

### (2) 参加、聴講にあたっての留意事項

ア プレゼンターは、次の内容を含むプレゼンテーションを禁止する。

- ・公序良俗に反するもの。
- ・政治的、宗教的な内容を含むもの。
- ・特定の民族、団体、個人を誹謗中傷する内容を含むもの。

イ 聴講者は、質疑応答時間以外の発言、ヤジ等は禁止する。

ウ その他、進行の支障になるとと思われる行為、発言は行わないよう注意する。なお、主催者の指示に従わない団体(者)に対しては、会場からの退去を命じることがある。

以 上

第4回More輝区～南区アイデアコンペ～  
**審査員特別賞 評価シート (案)**

各評価項目は、各5点満点とする。(合計30点満点)  
 各評価項目とも、5点満点中、3点を標準(普通)とする。

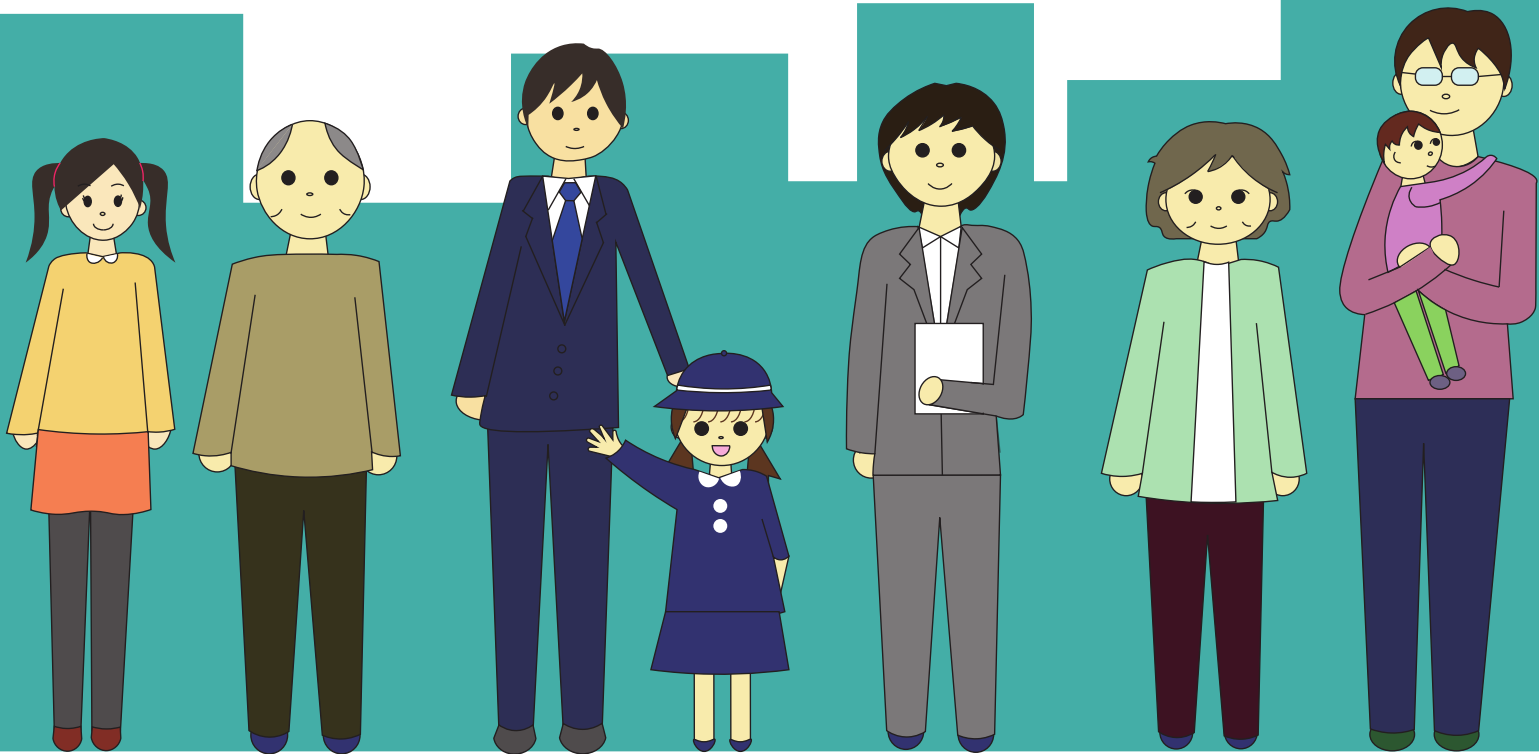
発表 順序	団体名	評価項目						合計	特記事項・コメント等
		プレゼン発表 資料の完成度 1	展示(パネル) 資料の完成度 2	論理構成 3	実現性 4	プレゼン能力 5	オリジナリティ 6		
1	団体名								
2	団体名								
3	団体名								
4	団体名								
5	団体名								
6	団体名								

- 1 プレゼン発表資料の完成度...提案内容に即した構成になっているか。プレゼンテーションの説明にあったスライドであるか。魅せる工夫がされているか。
- 2 展示(パネル)資料の完成度...提案内容に即した構成になっているか。提案内容が簡潔に説明されているか。表示内容に視覚的な工夫がされているか。
- 3 論理構成...提案内容は、十分なりサーチ(データ)としっかりとした分析に基づいており、説得力があるか。
- 4 実現性...法令的に問題はないか。具体的な内容が盛り込まれているか。実施体制等が十分に検討されているか。
- 5 プレゼン能力...はっきりとした口調で、分かりやすく説明できているか。
- 6 オリジナリティ...提案の視点が独創的で、他の自治体にあまり例がないもの。

第4回 More 輝区

# 南区アイディアコンペ

プレゼンター募集



## テーマ 「家族のための南区」

普段は忙しい働く世代・子育て世代にとって、家族と過ごすための時間は大切なもの。その時間を使って、家族と一緒に地域活動に参加（参画）できる取り組みや仕組みを提案してください。

働く世代・子育て世代が地域を盛り上げるような、「家族のための南区」にするアイデアを募集します！

- 日 時：平成30年2月17日（土）13:00～17:00（12:30開場）
- 場 所：相模女子大学 マーガレットホール4階ガーデンホール



主 催：南区若者参加プロジェクト実行委員会  
共 催：相模原市南区区民会議 相模原市南区役所  
後 援：相模原商工会議所 相模原青年会議所  
北里大学 相模女子大学 女子美術大学  
問い合わせ先：相模原市南区役所区政策課  
TEL 042-749-2134



一般観覧者募集・あなたも審査員！

南区に関わりが深い学生や社会人のみなさんが

南区のまちづくりについて壇上でプレゼンテーションを行います。

あなたの一票でオーディエンス賞が決定。

お気軽に会場までお越しください。



## テーマ：家族のための南区

日時：平成30年2月17日（土）  
13：00～17：00（12：30開場）

場所：相模女子大学  
マーガレットホール4階ガーデンホール

入場：無料

主催：南区若者参加プロジェクト実行委員会  
共催：相模原市南区区民会議 相模原市南区役所  
後催：相模原商工会議所 相模原青年会議所  
北里大学 相模女子大学 女子美術大学  
問い合わせ先：相模原市南区役所区政策課  
TEL 042-749-2134



第4回

More 輝区



# 南区アイディアコンペ